

# SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・  
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

**NPO法人 地域福祉サポートちた**

## も く じ

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> ドネーション型コンテストを通じた<br>市民活動と企業の協働促進 …… 1P | <input type="checkbox"/> ベティ基金10周年 …… 3P |
| <input type="checkbox"/> 介拓初任者研修修了報告 …… 2P                      | <input type="checkbox"/> インフォメーション …… 4P |
| <input type="checkbox"/> 強度行動障害講師紹介 …… 2P                       |  |

## ドネーション型コンテストを通じた市民活動と企業の協働促進

今秋10月27日、当法人が委託管理をしている知多市市民活動センターで「センターまつり」が開催される。そのイベント内で、当センターでは初めての試みとして、活動団体の取り組みをパネル展示し、ドネーション型のコンテストを実施する。ドネーションとは、見返りを求めず、社会福祉や社会貢献など公共の目的で行う寄付行為である。コンテストでは、市民からの一票に応じて、地域の企業から募った寄付が分配される。主旨に賛同した企業8社から協賛金を頂いた。

さて、NPOと企業の連携はこれまでも難しいとされてきている。あいち協働事業サポートセンター（構成団体：(N)ボランタリーネイバーズ、(N)ボラみみより情報局、当法人）『NPOと大学・企業促進事業調査結果報告書（2020年度）』によると、連携したいと思っている企業が一定数いる中で、連携実績がない企業の理由として「連携できるNPOがわからない(40.3%)」という回答が最も多くあった。

知多市市民活動推進条例では、「営利を目的とする活動」は市民活動の定義から除かれているため、企業はセンターに登録が認められていない。公平に市民活動を支援するためには必要な定義だが、このため市民活動団体と企業との直接的な接点が生れない。

内閣府世論調査（2023年度）では、61.4%の国民が「社会のために役立ちたい」と回答している一方で、内閣府が実施する『市民の社会貢献に関する実態調査（2022年度）』では、「寄付をしたことがある」35.3%、「寄付をしたことがない」64.7%という結果が出ている。さらに、この実態調査では、寄付を行う際の妨げとなる要因として、経済的な余裕（50.3%）に続き、寄付先の団体の信頼度（23.5%）、寄付が役に立っていると思えない

（22.9%）、寄付したいが十分な情報がない（18.2%）という回答が続く。そのため、寄付を受け入れる側にも、十分な情報開示と、寄付が何に使われるか、またこの活動で社会的に何がどう良くなるのかを具体的に示す必要がある。

今回のパネル展示にあたり、自分達の活動をより多くの人に知ってもらい、応援してもらうために、9月8日「伝わる・活動紹介パネル講座」を、（一社）キッカケキカクの松田友希さんをお招きし実施した。講座では、以下のポイントが示された。

1. 「誰に活動を伝えたいのか」を意識する。年齢や性別、居住地、生活スタイルなど、相手によって伝え方を変える。
2. 活動の根本となる「理念」をわかりやすい言葉に変換し、表現する。
3. パネルを見た人が、自分たちの活動にどんな行動を起こして欲しいのかを考える。SNSのフォロワーになって欲しい、イベントに参加して欲しい、仲間になって欲しいなど、具体的なアクションへ導く。



講師の松田友希さん

このポイントを意識し、現在17団体がコンテストに向けてパネルづくりを進めている。

最後に、今年、RandTカンパニーが設立し、当法人が事務局を務めるベティ基金が10年目を迎える。支援する側も、受け取る側も、目的を明確に伝えることで、相互の信頼関係を構築し、企業と市民活動団体との協働を促進したい。（安藤）

## ■ 介拓初任者研修修了報告

県内の通信制高校に通う高校生を中心に申込みがあり、2か月間のカリキュラムを終え、8月17日に15名が修了した。

実行委員として関わっている各事業所から講師を派遣し、高校生にも分かりやすく、体験的な内容を取り入れた講義を行った。当法人が担当した終末期科目では、いきいき在宅クリニック（大府



介護職員初任者研修「終末期講義の様子」

市)の緩和ケア看護師、志村麻衣子氏が講義を行い、後期高齢者の増加や医療・介護の人材不足が影響する社会状況の変化により、多くの人が希望する場所で最後を迎えられない現状や、人が死に

向かう際の心と体の変化について学んだ。

受講生からは以下のような感想が寄せられた。「自分が生きているのは当たり前ではないと思った。看護師を目指していて、ご家族の許可が出る範囲で、ご本人が楽しめる環境作りがしたいと目標ができた。」「終末期は暗いイメージが強かったが、本人にとって最後の望みをかなえてあげられる最後の機会になると学んだ。向き合うことの大切さを知ることができた。」

また、資格取得だけではなく、以下のような研修に取り組むための目標設定を行った。

「学校の課題研究として、介護施設の経営者にインタビューをする」「毎日休まず研修に通う」「人前で話すことが苦手なので、克服できるようにしたい」など、これらの目標通り、それぞれが努力し、達成したことも称えたい。修了式では、昨年度の修了生が訪問し、今後の進路に向けたアドバイスや介護のアルバイトについて受講生からの質問に答えた。先輩介拓生として後輩を気にかけて、顔を見せてくれる様子にも成長がうかがえた。(山森)



第4期修了生の集合写真

## 強度行動障害支援者養成研修 講師紹介

当法人主催「強度行動障害支援者養成研修」では、支援現場の実践者を講師として招聘しています。そんな講師陣の横顔をリレー形式で紹介します。今回は、(株)あいぼ 代表取締役奥山善仁さんです。(山森)

### 【団体の概要、仕事内容は？】

障害福祉サービス事業の生活介護・放課後等デイサービス・ヘルパー事業（行動援護中心）を運営しています。利用者さんは自閉症の方が9割以上となっており、自閉症に特化した事業所作りを行っています。



### 【現場支援で大切にしていることは？】

自閉症支援の基本の考え方を大事にしています。自閉症の特性を元に、言葉数を減らして、構造化を基本のアイデアとして支援を行っています。後は、とにかく早く行動することを大事にしています。自閉症支援はアイデア勝負です。「思い付いたらすぐ実践」を繰り返して、その人に合った支援を見つけていきます。

### 【受講生に持ち帰ってもらいたいことは？】

実践に移すことです！今まで行ってきた支援がうまくいっていないのであれば、支援を変えないとうまくいく可能性はとても低いです。思い切って変えないといけない事業所が、この地域には数多くあります。強行研修の内容を、現場に取り入れるように進めて欲しいです。

### 【団体からのお知らせやメッセージ】

構造化を見たことが無い方や、構造化を取り入れてみたもののうまく活用出来ていない方は、是非見学に来てください。自閉症の方に対して構造化を中心とした支援を行うことで、成人でも児童でも強度行動障害に該当する方が、静かに落ち着いて過ごせる姿を見ることができます。お気軽にお問合せ下さい。

(株)あいぼ 名古屋市緑区六田二丁目74  
電話：052-629-0775 担当：奥山

## ■ベティ基金10周年

ベティ基金は、障害者福祉活動団体を応援することを目的に2014年12月、(株)RandTカンパニーの出資により設立。今年で10年目を迎える。企業と中間支援NPOが連携し、資金提供の仕組みを作り、現在まで、86件の活動に助成金が活用された。基金設立までの経緯と、出資者である(株)RandTカンパニー久保利洋代表取締役の想いを振り返る。

\*\*\*\*\*

当時、久保代表は「現場に活動資金を届けたい」との思いから、独自の寄付活動を開始し、行政や財団などにも相談するが、折り合いがつかず、「寄付することが、こんなに難しいとは思わなかった。」と当時を振り返っている。その後、信頼する市議会議員の紹介で当法人と出会い、RandTカンパニーの「自分たちの利益の一部を、同じ地域にいる、障害のある人たちへの支援に使ってもらいたい」という思いと、当法人が掲げる「0歳から100歳の地域包括ケアのまちづくり」のビジョンが合致し、「困っている人のために、お金や人が、知多半島内で循環するといい」ということを両者で共有し、連携することになった。

最初の2年間は、東海市と知多市の団体を対象に寄付先を選定。3年目以降は、知多半島全域を対象を広げ、公募型に変更。公募型にする際の検討委員会の運営や手続き、広報活動は当法人が担当した。

久保代表は「連携の一番の成果は交流会」だと話す。「交流会を通じて多くの人と知り合い、見識が広がった」また、寄付を受けた団体同士つながりが生まれ、同じような活動をしている団体が連携することで、さらに良い成果が得られると考え、交流会の継続を望んでいる。

また、地域で多くのNPOが活動していることや、中間支援組織の存在を知らなかったと述べ、市民にNPOの活動を知ってもらうための媒体の必要性を訴えていた。

(2021年度愛知県『NPOと大学・企業連携促進事業調査結果報告書』より抜粋)

\*\*\*\*\*

初年度より「ベティさんの家太田川」を会場に、居住者の方々との交流会を開催。助成団体が歌や体操などのレクリエーションを披露し、楽しいひと時を過ごした。コロナ流行後、4年間交流会は中止されたが、2023年1月に再開した際は、13団体19名の参加があり、地域を超えた多くの団体が出会い、交流を深めた。今年度からは、助成団体が作成するチラシや冊子にベティ基金のロゴマークの記載を義務づけ、チラシを手にとった方にも基金の存在を知ってもらえるよう、広報を工夫していく。長年多くの活動が地域で展開さ

れ、受益者やその先につながる人との出会いが生まれている。出資者の思いである「地域への貢献」をカタチにできるよう、事務局としてより一層、団体を支援していきたい。(山森)

### 【10年間で助成された活動分野と金額】

活動分野	件数	助成金額
障害者福祉	71件	6,196,500円
子育て支援	11件	1,060,000円
高齢者福祉	3件	266,000円
外国人支援	1件	80,000円
累計	86件	7,602,500円

### 【助成団体からの活用報告】

#### 2023年1月助成

##### パティオちたほっとカフェ実行委員会

「障がいを持った人たちが交流できる居場所を開設するため、カフェの食器購入に活用しました。9時から13時半は地域の方にお越しいただき、モーニングとランチを提供しています。ミニコンサートなどを開催して、地域の方にも受け入れられる居場所になるよう活動を続けていきます。」



ボランティアのスタッフがモーニングを提供する様子

#### 2023年2月助成

##### 自然農・自然栽培で知多を豊かにする会

「藤原ひろのぶ氏「世界と僕らのつながりのお話」講演会費用に活用しました。助成金のおかげで参加費を抑えることができ、当日は100名を超える方に参加いただけました。ありがとうございました。」



世界の貧困課題から共存社会を考える講演会の様子

### 2024年度ベティ基金交流会のご案内

日時：11月30日（土）13:30～15:00  
 場所：ベティさんの家太田川  
 内容：助成団体活動報告、各団体との交流

# サポちた インフォメーション

会員のみならずから集まる情報を掲載しています。お気軽に情報をお寄せください。

## ■親子のホットステーション in 共育ふぁ～む 参加親子募集

畑(ふぁ～む)でゆったり過ごしてみませんか？  
野菜を育てて食べるまでを取り組む継続農業体験をきっかけに、親子で農園デビューを楽しみましょう！  
〈期間〉2024年10月～2025年2月(全5回)  
〈体験日時〉毎月第3土曜日10:30～13:00  
〈募集対象〉発達に支援が必要なお子さんと保護者(幼児～小学生低学年くらい迄)  
〈参加費〉3,000円(5回分)/親子1組に付(1人増1,500円)  
〈問合せ〉(N)共育ネットはんだ(水野)  
☎(090)8079-8809 kyouikunethanda@ozzio.jp

## ■ableBBC発足20周年記念講演会 「発達障害児がスポーツを通してつける力」

バスケットボールクラブが発足し20年。子どもたちのより良い未来を共に作っていきませんか？  
●講師：津守慎二さん(発達障害支援レインボー教室代表)  
〈日時〉2024年11月3日(日)10:00～11:30  
〈会場〉クラシティ3階 半田市市民交流センター・ホール  
〈参加費〉会員・学生 無料 / 非会員500円  
〈問合せ〉(N)共育ネットはんだ(水野)  
☎(090)8079-8809 kyouikunethanda@ozzio.jp

## ■「多様性フェア in えびせんパーク」出展！

武豊町、美浜町、南知多町の3町の障害福祉事業所が集まり、南知多町観光協会の秋のおたから博の一環として開催します。障害を持った利用者さんが作った作品や商品の販売・展示や、一般の方々も交え、キッチンカーや、音楽、大道芸のステージなど、より多くの人たちに障害福祉を知ってもらい、「こんな素晴らしい支援があるんだ」と思ってもらえるように、日頃の支援を活かして利用者さん達と楽しい場を作ります。  
〈日時〉2024年10月20日(日)10:30～14:30  
〈会場〉えびせんパーク(知多郡美浜町河和前田371-1)  
〈問合せ〉(一社)oneness(山本) ☎0569(89)8431

## ■「ゆいの会作品展」開催

さをり織り、陶芸、パッチワーク、絵手紙、新聞ちぎり絵の作品展・即売を行います。  
〈日時〉2024年12月6日(金)・7日(土) 10:00～15:30  
〈会場〉(認N)ゆいの会 (知多市新知字西屋敷22-2)  
〈問合せ〉(認N)ゆいの会 ☎(0562)32-5906  
※駐車場が少ないため、できる限り乗り合わせてご来場ください。

## ■知多市地域共生社会づくりフォーラム2024 「福祉をひらいてともに愉しむ地域づくり」

自分達にできることを考え、北海道のリアルな実践から地域づくりを考えます。

●講師：大原裕介さん((福)ゆうゆう)  
●トークセッション  
皇大喜さん(知多市市民協働課)・大原裕介さん((福)ゆうゆう)  
岸野有加里さん((N)AXESS・(株)マザーズ)・市野恵((N)サポートちた)  
コーディネーター：原田正樹さん(日本福祉大学)  
〈日時〉2024年11月16日(土)13:00～16:00  
〈会場〉知多市勤労文化会館 やまももホール  
〈主催〉知多市・知多市社会福祉協議会  
〈参加費〉無料(申込不要)  
〈問合せ〉知多市社会福祉協議会 ☎(0562)33-7400

## ■第11回 生活困窮者自立支援 全国研究交流大会 In 愛知

生活困窮者自立支援法が改正され、制度は次の10年へと足を踏み出しました。つながりや支援のかたちを共に考えつつ、制度を発展させていく展望を切り拓きましょう。  
〈日時〉全体会：2024年11月9日(土)、分科会：10日(日)  
〈会場〉東海市芸術劇場(大ホール)(全体会)  
日本福祉大学 東海キャンパス(分科会)  
〈申込締切〉現地参加：10月11日 オンライン：11月1日  
〈問合せ〉生活困窮者自立支援全国研究交流大会 事務局  
☎(022)727-8730(全国コミュニティライフサポートセンター)  
大会URL：<https://minna-tunagaru.jp/>  
※右記コード大会HPよりお申込みください。



〒478-0047 愛知県知多市緑町12-1  
知多市市民活動センター1階  
Tel 0562-33-1631 Fax 0562-33-1743  
Email spchita@ams.odn.ne.jp  
HP <https://sunnyday-cfsc.ssl-lolipop.jp/>

特定非営利活動法人  
CFSC 地域福祉サポートちた



## 手づくりカフェ Ada-coda シェフ募集

日替わりで市民が自分の思い通りのランチをつくり、お客さんに提供します。食品衛生責任者が常駐するので、初めての人でも安心して料理に専念することができます。詳細はサポートちたまでお問い合わせください。 担当/落水